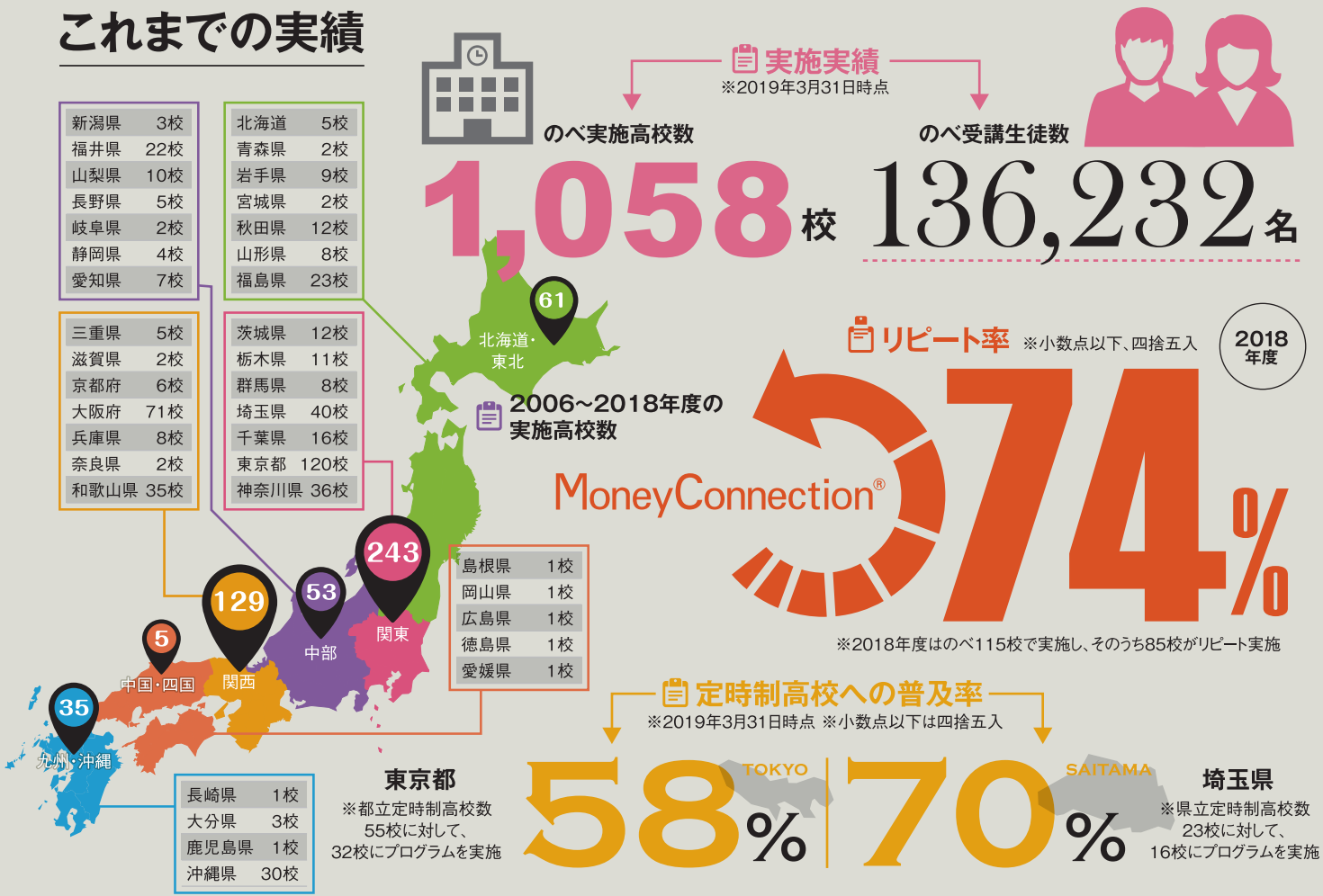


これまでの実績



MoneyConnection®

News Letter **7**
VOL. 7

若者の無業化予防をめざした金銭基礎教育プログラム | 育て上げネット | 新生銀行グループ



のべ実施学校数 **1,000校以上!**
のべ受講者数 **13万人以上!**

ニーズに合わせて
プログラムを提供します。

MoneyConnection®とは?

若者の無業化問題解決のため、そして高校生がお金について学び、より現実的に将来の選択肢を考えられるよう、認定特定非営利活動法人 育て上げネットと新生銀行グループが協働し「MoneyConnection®」を開発しました。一人暮らしに必要な生活コストを考えるワークやお金の稼ぎ方や働き方から将来の生活をシミュレーションし、自分の価値観を見つめ直すワークで構成されています。お金・働くこと・生活・自分の価値観を考えることを通し、自分の将来と真剣に向き合うきっかけをつくることを目的としています。プログラムは、所定の研修を修了した認定ファシリテーターにより運営されています。また、頒布教材や無償の教材データを活用して先生方が独自に授業に導入いただくことも可能です。

※出張授業・教材提供について
高等学校での出張授業を承ります。出張授業・教材提供には所定の条件がございます。詳しくはお問い合わせください。



協賛・協力団体からのメッセージ

新生銀行グループ
新生銀行グループでは、MoneyConnection®を「次世代の育成」をテーマとした社会貢献活動のもっとも重要な取組みとして位置づけ、プログラムに協賛するとともに社員の社会貢献活動の実践の場としても活用しています。良質なプログラムを多くの生徒に届けるため、企業としての知見や専門性を活かし、育て上げネットとのパートナーシップを強化しながら支援を行っていきます。

岩手銀行
岩手銀行はCSR活動の一環として、地域の未来を担う子供たちの「豊かなこころ」を育む取組みのお手伝いをしています。MoneyConnection®は、社会人として自立して生活するための「お金」と「仕事」について子どもたちが具体的に考え、感じるきっかけとなる、効果的なプログラムだと思います。

紀陽銀行
現代社会において、「お金」に関する知識の重要性はどんどん高まっています。成人年齢の引き下げやキャッシュレス決済の進展など、社会が目まぐるしく変化していくなか、MoneyConnection®は最適なタイミングで自立した将来を考えさせるべく、高校生にぴったりなプログラムだと思います。

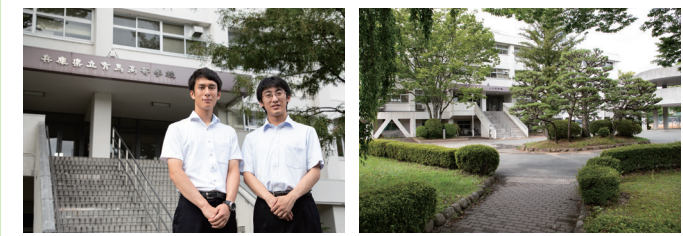
特定非営利活動法人 キャリア・ファシリテーター協会
和歌山県下と大阪南部の高校で実施しているMoneyConnection®は、株式会社紀陽銀行様に協賛を頂き当協会が実施しています。毎年、高校からの申し込みで直ぐに予約がうまり学校から好評です。「クラスのみならず楽しみながら、お金・働くことなど、将来を考えるきっかけになった」と生徒からも大好評のプログラムです。

4つの実施事例から知る MoneyConnection®

「お金」を切り口にして、
どう生きていくかを考える
▶ 東京都立青井高等学校



2時間のワークショップで考える
「働き方」と「お金」
▶ 兵庫県立有馬高等学校



現実の社会と直面し、卒業後の自分と向き合うきっかけに
▶ 埼玉県立浦和高等学校(定時制課程)

家計の学びに取り入れたら、想像以上の発展した学びに
▶ さいたま市立浦和高等学校

MoneyConnection®の詳細が知りたい、実施を検討してみたい場合は育て上げネットまでご連絡ください。
042-527-6051 kyoiku-toiawase@sodateage.net

2019年9月1日発行 発行元:認定特定非営利活動法人 育て上げネット(〒190-0011東京都立川市高松町2-9-22生活館ビル3階)、株式会社新生銀行

公式サイトで全文を公開!
最新情報をご確認ください。

マネーコネクション moneyconnection.jp



4つの実施事例から知る MoneyConnection®

公式サイトで全文を公開!
moneyconnection.jp



東京都立青井高等学校

川澄 正幸 先生 / 2年生担任・学年の進路指導担当・社会科担当

全日制

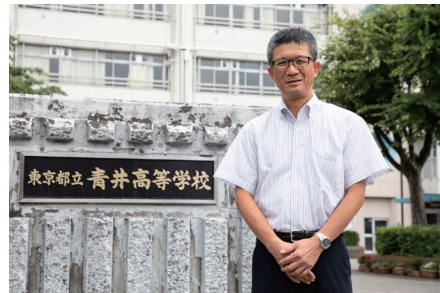
2年生

6
クラスで
実施

1時間
50分

出張
授業

「お金」を切り口にして、どう生きていくかを考える

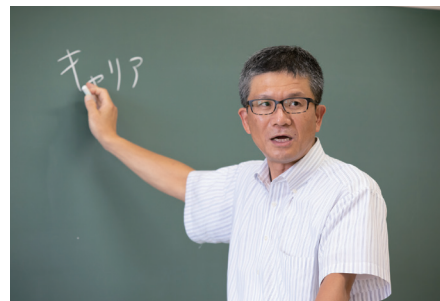


中でプログラムを活用しています。キャリアデザインの授業で強調しているのは、「将来、誰もが働く人間として社会に参加していく」ということ。その中で特に「お金」を切り口にして、自分がどのように生きていくかを考える入り口を作ることが、このプログラムを実施する意義だと思っています。生徒の家庭の生活実態が厳しいという背景があり、進路を考える際にお金の問題を避けては通れません。そのことを意識させることが一番の目的です。

進路とお金の問題に向き合う背景には生活実態の厳しさもある

MoneyConnection®は、2013年に初めて導入し、2014年からは東京都教育庁委託「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の一環で実施してきました。

2年生の「キャリアデザイン」の授業、いわゆる『総合的な学習の時間』の枠組みの



外部の人による授業だから刺激があり生徒が素の表情で参加

プログラムの流れがとても面白く、いきなりカードゲームが始まるようなワクワク感があります。そこからお金の話にズバッと切り込むので、非常に食いつきがいい。普段の



授業では寝てしまうような生徒も、グループワークに楽しく参加していました。高校生ぐらいになると、多少、知ったかぶりをしたりするんですが、グループワーク中は、すぐストレートに、知らないことは知らないと表現していました。知らない大人が来て授業をしてくれてという、我々が授業をやっているときとは違う雰囲気があるので、素直に受け入れることができるのかもしれない。

プログラムの実施後の時期には進路指導が始まります。そのとき、プログラムで学んだ「一人前の人間として生きるための収入と支出」の考え方を思い出させながら、「こういう生活をしたいなら、こういう収入が必要だね。だったら、その学校選択で大丈夫?」という問いかけに発展させることができます。今後はそうした進路指導への活用をさらに考えていきたいと思っています。



兵庫県立有馬高等学校

橋本 啓佑 先生(左) / 地歴公民科担当 岡本 康平 先生(右) / 福祉科担当

全日制

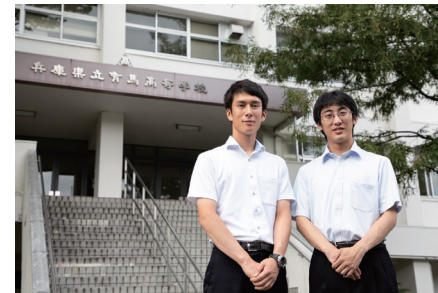
総合学科
1年生

5
クラス
合同実施

2時間
100分

出張
授業

2時間のワークショップで考える「働き方」と「お金」



岡本先生 ● 本校では、学年全クラス合同で行っています。ファシリテーターの方にプログラムを進行していただき、担当教師が教材の配布や回収をしながら各グループを見えています。MoneyConnection®自体が1つのメッセージを持つプログラム。しかも大教室ならば、同じメッセージを学年全体に同時に伝えられるメリットがあります。

橋本先生 ● 普段の教室よりも生徒同士の席が近く、カードを引くといった遊び心がある授業なので、生徒たちも乗ってきます。200人の生徒と教師14人、ファシリテーターの方3名、みんなで授業を作っているという一体感がありますね。

岡本先生 ● もともと明るく元気な子たちなのですが、「カードを引くというだけでこんなに喜ぶのか!？」と、彼らのリアクションにはびっくりしました。

全クラス合同の実施で一体感あるノリノリの授業

橋本先生 ● 総合学科1年次に履修する「産業社会と人間」では、夏休み終了後に「プロフェッショナルin有馬」というテーマで7回の講座を展開し、働くことと自分の夢について考えていきます。MoneyConnection®は初回の「お金について考える」授業で実施しています。



働き方や雇用形態、お金の使い方を考える

岡本先生 ● MoneyConnection®の良いところは、節約できるお金と、できないお金について、きちんと説明していただけること。授業の後の振り返りで「一人暮らしは無計画では難しいと知った」という感想もありました。授業の記憶が頭の片隅に残っていれば、将来、税金や社会保障についてずっと理解できるのではないかなと思います。

橋本先生 ● 正社員と派遣社員、フリーターのデメリット、メリットを理解したうえで、「どの働き方が自分にとってベストかを考えていきたい」という感想も。プログラムを通じて、働くことってなんなんやろ、働いてお金をもらおうとはどういうことなんやろ、というのを深く考えるきっかけにしてほしいですね。



埼玉県立浦和高等学校(定時制課程)

松本先生(右)/1年生担任・外部教育力連携委員会担当 小島大貴先生(左)/3年生担任・国語科担当

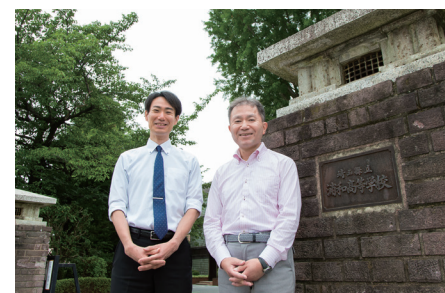
定時制

2年生

1
クラスで
実施

1時間
45分

出張
授業



現実の社会と直面し、卒業後の自分と向き合うきっかけに

松本先生 ● MoneyConnection®は、お金や生活、仕事の面から現実の社会を知り、卒業後の自分と向き合うきっかけづくりに役立っています。外部の方が具体的に伝えてくださることで、真剣に考えようという刺激になるようです。

小島先生 ● 中退してアルバイトで生活しようとする生徒もいるのですが、プログラムを通じて理想と現実のギャップに気づきます。「生活するにはこういう仕事に就かないといけない」と彼らの意識を変えるインパクトがあると感じました。



さいたま市立浦和高等学校

後藤 亜里紗 先生 / 2年生担任・家庭科担当

全日制

2年生

8
クラスで
実施

1時間
50分

自主
開催



家計の学びに取り入れたら、想像以上の発展した学びに

家庭科の「消費生活」分野の導入部に取り入れています。毎年必要な教材を教材費予算で購入し、私たち家庭科教員がプログラムを展開するという使い方です。座学だとつまらなくなりがちな家計の費目や可処分所得などを、楽しみながら学べるので助かっています。プログラ

ムを通して「大学選びは将来を選ぶこと」と気づいたり、「地方大学に進学した際の一人暮らし」を考えるきっかけになっているようです。プログラム導入前は、MoneyConnection®が進学校の本校にマッチするか不安でしたが、生徒は想像以上に多くを学び取ってくれています。